



11 あるく観音様

常光寺

河内音頭の発祥の地として知られる常光寺は日本三大地蔵として名高い。ここでの春の伝統行事であるお練供養「大般若会」は4月24日にある。如来、菩薩から閻魔大王、赤青鬼までが、境内にしつらえられた通路を厳かに（あるいはのっしのっしと）歩かれる様は見ごたえたっぷりです。（八尾市本町5-8-1）



12 観音だつておもしろい

念仏寺

もとは聖徳太子が建立した久宝寺のご本尊でしたが、寺が戦災で灰になり伊賀の国へ。その後伊賀や近江の国を転々としたのち一度は久宝寺村の許麻神社の観音院で祀られることになるも、明治の神仏分離令で廃寺になり布施高井田長栄寺に再びさすうことに。明治の末、村ではやり病が広まったのを期に久宝寺の末院と伝わる念佛寺へ迎えられ放浪の旅は終わりを告げた。次はどこへいくのだろう……。 （久宝寺3-4-25）

13 長瀬川の船着場跡



長瀬川の船着場跡

旧太和川当時は川幅が200メートルもあり、川船が往来していました。付替え後の井路川として残り、八尾・久宝寺で共同出資した剣先船として京橋を経由して淀・大阪に出航していました。久宝寺側は船着場、八尾側は八尾浜と称していました。（東久宝寺町1丁目）

14 灯籠に絵文字？



勝軍寺

毎年8月15日、16日にさまざまな絵や歌が書かれた灯籠がかけられている。この地で物部守屋を滅ぼした聖徳太子が、戦死者の霊を慰められたことが由来らしい。（太子堂3-3-16）

15 一万円札の母



穴太神社

といっても旧一万円札の話である。古名社である穴太神社は、聖徳太子の御母君であらせられる間人穗皇后（はしひとあなほへのこうごう、第31代用明天皇の后）の生地であり、成人された地でもあります。この穴太神社の地域は第20代安康天皇が設けられた御名代部（みなしろべ、皇室の私有地）でした。（八尾市宮町1丁目）

地であり、成人された地でもあります。この穴太神社の地域は第20代安康天皇が設けられた御名代部（みなしろべ、皇室の私有地）でした。（八尾市宮町1丁目）

ナンバーの色分け

- 歴史・風景など
- 店舗など
- 施設など

17 菜の花ちやうちやう



恩智川の西洋からし菜

毎年4月頃に菜の花に似た西洋からし菜の群生が見事に咲き誇ります。恩智川が運んだ土砂の上に育った自然からの贈り物です。場所は恩智川の鉢之木橋から中高橋、式部橋にかけてです。（東山本町あたり）

18 かえるスピーカー



暗渠の蓋

それは、南山本小学校から楠根川へ向かう水路が暗渠になっている道路にある。初夏の朝、かえるの合唱が道路の下から聞こえてくる。夏の夕方、たまに子どもたちの声が聞こえてくることも……。ここは子どもたちの秘密の隠れ家でもある。（山本町南8丁目10番あたり）

19 都会の中のオアシス



水路

成法中学校の横を南北に通っている水路。ここには、他の水路にないものがたくさんあります。魚が休める溜まりにはフナ、大きな玉石のあいだにはザリガニ、そして水生植物も目を楽しませてくれます。市街地の中のオアシス、散歩コースにとり入れてみてはいかがでしょうか。（清水町1丁目～安中町6丁目）

20 黄金のカーペット参上!!



跡部神社

八尾市指定保全樹木に指定されている高さが20mほどのイチヨウの木は、秋になると国道25号線からも紅葉しているのがよく見えます。紅葉のシーズンはあえて落ち葉を掃除せず、黄金のカーペットを造っているらしい。（亀井町2-4-5）

16 グッズも充実



広報展示室

八尾飛行場は、かつて阪神防空戦闘隊として飛行第246戦隊が基地を置き活躍していました。当時の姿そのままの分厚いコンクリート製建物に銃眼を開けた戦闘指揮所を活用している広報展示室は内部が改装され、自衛隊のPR資料が数多く展示されています。八尾駐屯地の近くにお越しになりました折りは、ぜひ、この展示室を訪ねてみて下さい。自衛隊ブランド(?)の楽しいお土産もいろいろありますよ。陸上自衛隊 八尾駐屯地 広報班 072-949-5131 (内線229)

このマップは「おおぞ」の位置しか示していません。ご自分の足で歩き、探し当てて宝探しのよう楽しんで下さい。また、あなたのイケてる場所を書き込んでもっと素敵なマップを作り上げて行くのもいいのではないのでしょうか？